

国臨協関信支部

埼玉地区会だより

埼玉地区会総会・研修会に参加して



NHO 埼玉病院

若林 大介

令和元年9月14日(土)に国立病院機構西埼玉中央病院において埼玉地区会定期総会・研修会が開催されました。

多数の地区会会員の参加と来賓として関東信越グループより北沢敏男臨床検査専門職、国臨協関信支部より地区会会長でもある岩崎康治支部長および田中暁人理事にご臨席を賜りました。はじめに定期総会では岩崎支部長、北沢専門職の挨拶から始まり平成30年度経過報告、令和元年度事業方針ならびに新旧役員について審議され会員の承認を持って総会を無事終了し、私も初めて地区会理事を拝命することになりました。また、関信支部の田中理事からは国臨協の紹介および活動報告がなされました。

学術講演では、国臨協関信支部学術委員会輸血検査部門長の阿出川裕子先生による「輸血検査 基礎と手技について」と題してご講演いただきました。輸血検査は当番業務で行っていてなかなか慣れることが難しくわからないことだらけだったのですが、今回の講演を聞き、血液型検査や交差適合試験および判定時の凝集の見方など基礎的な手技や知識を改めて見直すことができ日々の業務に役に立てていきたいと思いました。

続いて、北沢臨床検査専門職より「伝達事項ならびに会員の皆様に向けて」題し、国立病院機構の概要と役割、主任選考試験や各種認定資格の取得状況や現在の会員の年齢状況など人事に関する事、会員に対しての伝えたい思いなどをご講演いただきました。10年後の厳しい環境に目を向けて、日々の検査業務だけではなく主任試験や認定資格に取り組んで、ますます自己研鑽していきたいと思います。

総会・研修会終了後は、西武池袋線小手指駅前に場所を移し懇親会が行われました。今回、懇親会に参加ができませんでしたが会員の方々に加え、今回新しく埼玉地区に赴任された方々で盛り上がっていたとの事でしたので次回は是非参加したいと思っています。

最後にお忙しい中、ご講演いただきました阿出川先生ならびにご来賓賜りました北沢専門職および関信支部役員の方々に深く感謝申し上げるとともに準備していただきました埼玉地区会役員と西埼玉中央病院スタッフの方々に心より御礼申し上げます。

